

事務事業名		国保診療所患者輸送車運行事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業																														
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間																															
	施策名	08 生涯にわたる健康づくりの推進		区分																															
	基本事業名	02 地域医療の充実		単年度繰返																															
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入																															
所属	部課名	市民生活部国保医療課		【開始年度】																															
	課長名	佐々木 直央		平成13 年度～																															
	係名	越喜来診療所	電話	0192-44-2103																															
	担当者	中嶋 聖志	内線	-																															
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																															
交通機関のない地域へ患者輸送車を運行し、国保診療所を利用する患者への利便を図る。 主な業務は、綾里、越喜来地区における患者輸送車の運行。 事業費の内容は、患者輸送車運行業務委託料、患者輸送車維持管理費(修繕費、燃料費)である。				<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金			都道府県支出金			地方債			その他			一般財源			事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金																																
			都道府県支出金																																
			地方債																																
			その他																																
			一般財源																																
		事業費計(A)	0																																
	人件費	正規職員従事人数																																	
延べ業務時間																																			
人件費計(B)		0																																	
トータルコスト(A)+(B)		0																																	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動) 患者輸送車の運行(綾里地区週2日、越喜来地区週5日、吉浜地区週5日) コロナ感染症対策の推進(運転席と患者席間に仕切り版設置、一般乗客の利用自粛呼びかけのチラシ配布等)	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 患者輸送車運行日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 患者輸送車運行日数	日	イ		ウ	
名称	単位								
ア 患者輸送車運行日数	日								
イ									
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 主に三陸地区の住民	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 行政区域内人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 行政区域内人口	人	キ		ク	
名称	単位								
カ 行政区域内人口	人								
キ									
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 交通機関のない地域へ患者輸送車を運行し、国保診療所を利用する患者への利便を図る。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 患者輸送車利用者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 患者輸送車利用者数	人	シ		ス	
名称	単位								
サ 患者輸送車利用者数	人								
シ									
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 早期に適切な医療が受けられる。									

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0	0		
		一般財源	千円	4,995	5,319	5,076	5,574	5,574	5,574	
	事業費計(A)		千円	4,995	5,319	5,076	5,574	5,574	5,574	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	100	100	100	100	100	100	
		人件費計(B)	千円	400	400	400	400	400	400	
		トータルコスト(A)+(B)		千円	5,395	5,719	5,476	5,974	5,974	5,974
⑤活動指標		ア	日	328	328	332	333	333	333	
		イ								
		ウ								
⑥対象指標		カ	人	5,692	5,487	5,301	5,146	5,146	5,146	
		キ								
		ク								
⑦成果指標		サ	人	1,220	1,038	779	645	645	645	
		シ								
		ス								

事務事業ID	0304	事務事業名	国保診療所患者輸送車運行事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	綾里診療所（開始当時は病院）、越喜来診療所の開設に伴い、患者の利便性向上を目的とする患者輸送車の運行を開始した。 ※運行開始年度は不明である。
② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	東日本大震災にて越喜来診療所の車両が流出し、運行を中止していたため利用者数が一時減少したが、平成24年7月の車両導入後は利用者数が増加した。 平成26年度まではシルバー人材センターに委託していたが、派遣法により平成27年度から民間派遣会社に変更し事業費が増加となった。また、平成28年度からは派遣法の改正により、シルバー人材センターへの再委託が可能となったが、運転手の派遣の継続性の観点から、再度民間派遣会社への委託となった。 従来は綾里・越喜来地区の運行だったが、平成28年10月に綾里・吉浜診療所で派遣医師による診療を開始したことにより、越喜来・吉浜間及び吉浜地区の運行も追加した。 市内中心部から崎浜間における民間バス路線が、令和2年3月末に廃止されたことに伴い事業の需要が高まってきている。
③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	高齢者など車で移動できない患者にとって無くてはならないものであり、このまま継続するよう求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	▽ 理由・内容 地域の医療ニーズに応えるべくこの事務事業を推進し、成果（病気の治療、健康の増進）をあげることで、市民一人ひとりの健康づくりの一環として重要な役割を果たしていることから政策体系と結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	▽ 理由・内容 三陸地区は公共交通機関が乏しく、また、診療所を利用する患者のほとんどは高齢者であり、いわゆる交通弱者であることから患者輸送車の運行は通院のきっかけとなる。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	▽ 理由・内容 鉄道やバスはあるが、駅やバス停からの距離、本数の少なさを考慮すると、患者にとって必要な移動手段となっており、対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	▽ 理由・内容 診療時間にあわせた時刻表となっており、このまま継続することが望ましい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	▽ 理由・内容 患者の大半が高齢者であり、公共交通機関が乏しいことから、廃止による影響は大きい。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容 運行業務を外部委託しており、時刻表も診療時間にあわせた設定としている。さらに、派遣医師での診療対応期間や常勤医師の招聘など、医療体制の変更にあわせて適宜対応しているため、これ以上の削減は難しい。
	⑦ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	▽ 理由・内容 運行業務を委託しているため、人件費としての削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	▽ 理由・内容 運行業務は旧三陸町地区のみだが、公共交通機関の整備された旧大船渡市と比較し、行政が関与することによって均衡性が保たれることから、公平・公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																		
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×	当面、現状維持とするものの、少子高齢化の進展や人口減少に伴い、診療所の患者数は年々減少する傾向にあり、今後、4診療所の在り方を検討していく中で、本事業の方向性についても併せて考えなければならない。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
	低下	×	×																	
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	現状維持とするが、将来にわたり住民の健康が維持されるよう診療所の経営改革が必要な時期にあると捉え、今後、診療所の在り方の検討を進めていく中で、公共交通計画担当課とも協議しながら、本事業のあるべき姿を模索する必要がある。